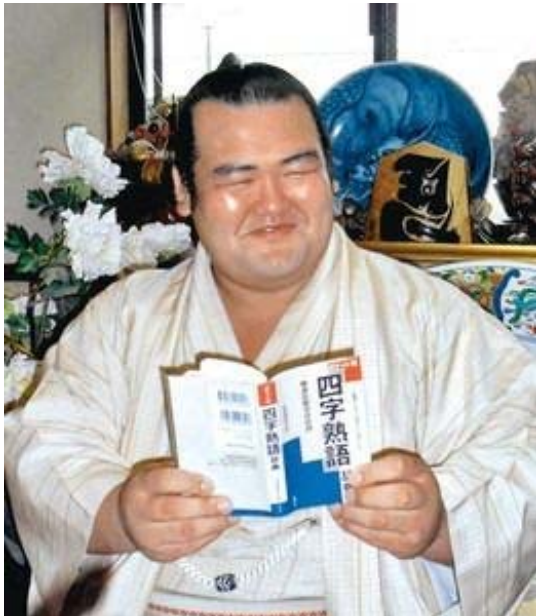


組子ベッド百報

2011. 11-12月号 (No. 13)

著作権は、(株)総桐箆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潁郡大木町三八松 1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
<http://kumikobed.com/>

このニュースターは“組子ベッド・販売様向け”に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



大相撲九州場所が13日から始まる。琴奨菊関が大関となり注目しているところ。その大関は隣町でもある柳川市出身。地元ではたいへんな盛り上がりとなっています。お礼の口上に、「万理一空の境地を求める」と、見知らぬことばを添えられましたが、この「一」の文字が相撲始めるきっかけになり、スパルタ教育で鍛えてくれた、おしいちゃん・一男さん(故人)の名前にある「一」を入れたそうです。深い～～である。



柳川市には過去横綱がいました。生誕150年だそうです。横綱の土俵入りに雲龍型というものがありますが、これは第10代横綱雲龍久吉が始めたものです。顕彰する為に

全国的にも珍しいドーム式の土俵や雲龍の郷(資料館)が作られています。このドーム式の土俵で琴奨菊も、けいこしていたそうです。日本人大関として、大いに期待したい。頑張れ、琴奨菊!!

この“組子ベッド百報”は、販売店様のみ編集したもので、保管していただくようお願い致します。新型組子ベッド“こち”は、前回ご案内致しましたが、一般ユーザーの方が、当社のブログをみて、販売店様にご指名されてます。ところが、販売店さまによっては、お渡した、この“組子ベッド百報”を破棄されていて、お客様が言われることがチンプンカンプンになっている所もありました。この“組子ベッド百報”は、販売店様のみ編集したもので、保管していただくようお願い致します。

なお、同封致しましたように、新しいチラシもできあがり、HP(<http://kumikobed.com/>)の方にも公開致しました。人気の製品になりつつあります。

そこで、まだ現物をご覧になられてない販売店様には、往復送料当社負担にて、一週間ほど貸し出しを致します。同封のFAX用紙、また、メール(wako-kiri@tansu.com)にてお気軽にご請求下さい。

■新製品組子ベッド“こち”

組子ベッド・こちの特長は宮付き(2口コンセント付き)、接合部はダボ構造、ネジ固定、組立ては約5分。蜜蝋仕上げのナチュラル色。素材は、もちろん総桐。組子はシングルで5枚、セミで6枚。このシリーズは、シングル、セミダブルの2タイプしかありません。組子ベッド・あんばいのようにヒンの出っ張りもなく、ヘッドボードの下は大きく開けましたので、全方向から楽に掃除機をかけられます。私が試供してますが、二段になっている宮は、いろいろ乗せられてとっても便利です。



(株)総桐箆筒和光

■節電＝布団が売れる＝組子ベッドが必要？



10月初め7時のNHK・おはようごっぽんのニュースで、夏の節電対策につづき、冬の節電対策として、電気を使わないということで布団が今年の2倍の勢いで売れていると放送が 있었습니다。

その布団の中でも、敷き布団に特に適しているのが、当社の組子ベッド。昨年より、さらに伸びているので、なぜかな～と思ってましたら、そういうところに売り上げ増の要因があったのでした。

■再生(洗い)、パリに到着

パリに嫁ぐことになった娘に持たせるということで再生(洗い・リフォーム)を承りました。おばあちゃん→おかあさん→娘さんと、三代に渡って使われ伝え継がれ、海外へです。再生ができあがり、梱包する前にご両親が見に来られましたが、見違えるようなできばえに、ほんとうに驚かれました。いままでの思い出も蘇ります。

パリへは、他の荷物と一緒にコンテナ船便ということでお客さまで手配されましたので、当方では梱包をいつもより厳重にしました。なにせ、赤道を越えて行くので気温に耐えるかと心配。到着後すぐ無事着きましたと、下記のお礼のメールをいただき、こちらも安心しました。



この度は大変お世話になりました。ひとことお礼を申し上げたくてご連絡いたしました。両親が貴社にリフォームをお願いした筆筥が、本日無事にパリまで届きました。日本通運のかたも、完璧な梱包だとひとしきり感心しておられました。前の筆筥の雰囲気も部品もそのままでありながら以前とは見違えるほど綺麗になり感激しております。梱包を解いた瞬間、桐の香りが広がり実家や両親のことを懐かしく思いました。筆筥をプレゼントしてくれた両親と、蘇らせてくださった御社のみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



■朝礼本は「月刊朝礼」

毎朝の朝礼では、もう10年以上「月刊朝礼」。当番が数行読み、その後全員で唱和します。いろんな気づきがあって毎回新鮮です。10月31日の「月刊朝礼」は「月刊朝礼」賛美でCMのような内容。それも全員で唱和しましたがね。

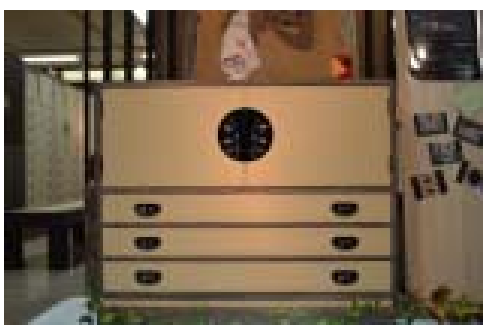


組子ベッドのクイーンサイズです。”組子”のレイアウトは、このようになります。
 なお、クイーン、キングサイズには、スノコの下に、安全上、補助足が3本付いてます。



■ 世代交代 & 創業38周年感謝イベント

札幌のヨネタ布団店さん、息子さんが、社長となり、そのイベントをされました。おめでとうございます。



■ 桐選華シリーズ第一弾！

「桐」筆筒、「選」んで、「華」やかに

常務(息子)のデザインの第一弾。
 着物は持っているだけで枚数は少ない。
 小ぶりの桐筆筒があればな〜というご要望に応えた逸品



製品名 C☆ute(キュート)
 本体サイズ (W)1040×(H)850×(D)450
 販売価格 ¥380,000



■ 15年で26万キロ

先月、柳川市内を営業で回っていたら、ガソリンは満タンなのに、ガス欠のような感じでエンジンストップ。水温などの警告灯にも異常なし。数分経ってエンジンをかけると始動。進むとフニョ〜とエンジンストップ。

車検なんかお願いしている筑後の整備屋さんに、取りに来てもらって数日調べてもらいましたが原因不明で帰ってきました。その後は恐る恐るです。いつどこで止まるかハラハラ。そして

三週間ほど過ぎ、そんなことも忘れていた日、また突然、症状がでました。

今度は福岡市内。でも購入ディーラーが近くだったので来てもらいました。整備の方が到着してすぐやられたのは、ハンドルの下あたりにケーブルを差し込んで、専用コンピュータらしきものでポチポチポチ。5分ほどで不良箇所のコードがでできてました。

そのまま車は整備工場に。私は電車で帰るハメに。翌日、電話で原因を説明されましたが、15年も経っているということもあって燃料系センサーの不具合ということでした。ついでに搭載コンピュータも古いので交換を勧められました。私の車はクライスラー・ボイジャー。この車種では九州登録1号。走行距離は26万キロ。修理したのでエンジンが壊れるまで乗り続けるつもりです。

■ 着物は桐たんすに入れた方が安心ですよ

「着物を着るとラッキーが降ってくる」という本が発刊されてます(発売日: 2011/9/23)。この本には、外見、内面も女性らしさがアップするという、着物を着ることでのメリットを書いてあり、やっぱり"やまとなでしこ"は、着物がいいな〜と思う、ひとりです。

この本、ざっと目を通してみましたが、収納に関しては「昔は桐などでできた着物を収納する専用のタンスというものがあるがどこの家にもあって・・・」「最近では着物専用のタンスがない家庭がほとんどです」と、ありましたが、着物を収納する専用のタンスというのは桐箆笥のことです。



桐は弱アルカリで虫がきらい。また、桐が適時に呼吸して、衣類の湿度を一定に保ちます。着物には桐たんす、ぜひ、ご検討下さい。着物一枚分で安心が買えます。

■ 世界のCMフェスティバル in 東京(大阪)

「世界のCMフェスティバル」は、世界中のCMだけを集めて、オールナイトで理屈抜きに楽しもうというイベント。これの日本版といえるものが1999年に福岡で開催されて以来9年目を迎えます。今年は全国21都市で開催。常務(息子)が作った15秒のCMが福岡で採用されましたが、東京、大阪でも採用が決定。しかも、会場で当社のチラシも配ってくれるということで、両会場の来場予定人数分として4000部を用意しました。。作品は当社のHPにも掲載しています。

<http://tansu.com/>



がんばろうニッポン

(株)総桐箆笥和光

DNA

我が社の遺伝情報であり、会社史であり、備忘録あり、
自分史あり、ドキュメンタリーでもあります



冬の省エネ対策もあって、部屋着の暖かいものが欲しいな~と思ってました。そこで、日本伝統の丹前を筑後の宮田織物さんで購入。ネット販売もしてあり、全国的にも有名。近くですから見て触って購入(平日のみ可)。私の長丹前だけ買うつもりが、三姉妹の孫にはお揃いで、はんてんを。

いいい、ばあばあ、も板に付き(^;)
一緒に記念撮影。

■ヒシ復活 6年ぶりクレークに秋の主演

いまが旬の、大木町特産のヒシをいただきました。ヒシは、池沼やクレークに自生する一年草。水中の茎にひし形の実がなることから、その名が付いたということです。実はゆがくとクリに似た味がします。



以前はどこのクレークにも自然と生えてましたが、新芽を食い荒らす外来種のミシシブアカミガメ(ヨドリガメ)が繁殖し、ここ数年はほとんど見かけなくなっていたのです。町内の方々が粘り強くカメを駆除したところ、今年は6年ぶりにヒシが茂ったということで話題となり、新聞やテレビに大木町の方々が次々に登場。町のPRにはなったようです。

このヒシ、遠方に送るのは生ものだけに心配。これを味わうには大木町に来ていただくしかありません。地元では、路地売りもありますがスーパーにも売ってあります。



町の運動会が小学校(大莞)で4年ぶりに開催。2年毎となっているのですが、前回はインフルエンザで中止だったのです。抜けるような秋晴れの元、今年6月にボランティアの方々が植えられた芝もすっかり馴染んで、とてもきれいでした。私は地区公民館長としてのお世話係でしたが、皆様のご協力によりケガもなく無事終了致しました。